

競争的研究費の直接経費からの研究代表者(PI)の人件費支出に係る
活用実績報告書（令和5年度）

1. 実施状況

①事業名	②直接経費から人件費を支出した、所属PIの人数（人）	③所属するPIについて、直接経費から支出した人件費の総額（円）	④所属するPIについて、直接経費から人件費を支出したことにより確保した財源の総額（円）
ワクチン開発のための世界トップレベル研究開発拠点の形成事業（AMED）	4	9,366,403	9,366,403
民間機関との受託研究	3	5,996,794	5,996,794
ムーンショット型研究開発事業（JST）	2	3,395,017	3,395,017
新興・再興感染症研究基盤創生事業（AMED）	2	2,831,660	2,831,660
医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業（AMED）	1	2,822,964	2,822,964
新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業（AMED）	1	1,032,224	1,032,224
創発的研究支援事業（JST）	1	700,000	700,000
革新的先端研究開発支援事業（AMED）	1	557,932	557,932
合計	15	26,702,994	26,702,994

2. 確保した財源の使途、具体的な活用内容、効果等

- ・研究者に対して、直接経費から人件費として支出した額の50%相当を、当該研究の応用に係る研究費として配分し、当該研究者の継続的な挑戦を支援することにより、研究成果の更なる発展に寄与した。
- ・研究者に対して、直接経費から人件費として支出した額の50%相当を、本学の研究に係る設備や機器などの保守・修繕・更新費用として使用し、円滑な研究環境を確保することにより研究体制の強化を行った。

※ 他の経費と一体的に活用することも可能です。その場合はどのような経費と併せて何の取組に活用したか分かるように記載してください。

※ 必要に応じて参考資料を添付してください。

3. 策定した活用方針や活用実績を公表している研究機関のホームページ等の URL を記載してください。なお、各研究機関における研究力向上に向けた実施事例については、好事例として政府のホームページでも公表させていただく場合があります。

(<https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/gakusai/index.html> 【長崎大学 研究・産学官連携】)